

- 1 前回示した本県高校生登山のあり方の方向性
- 2 前回示した取組のイメージ
- 3 生徒のニーズを踏まえた安全登山への取組
- 4 県教育委員会の取組（案）
- 5 令和5年度に向けた取組（案）
- 6 中・長期的な取組（案）
- 7 安全登山に向けた取組スケジュール（案）

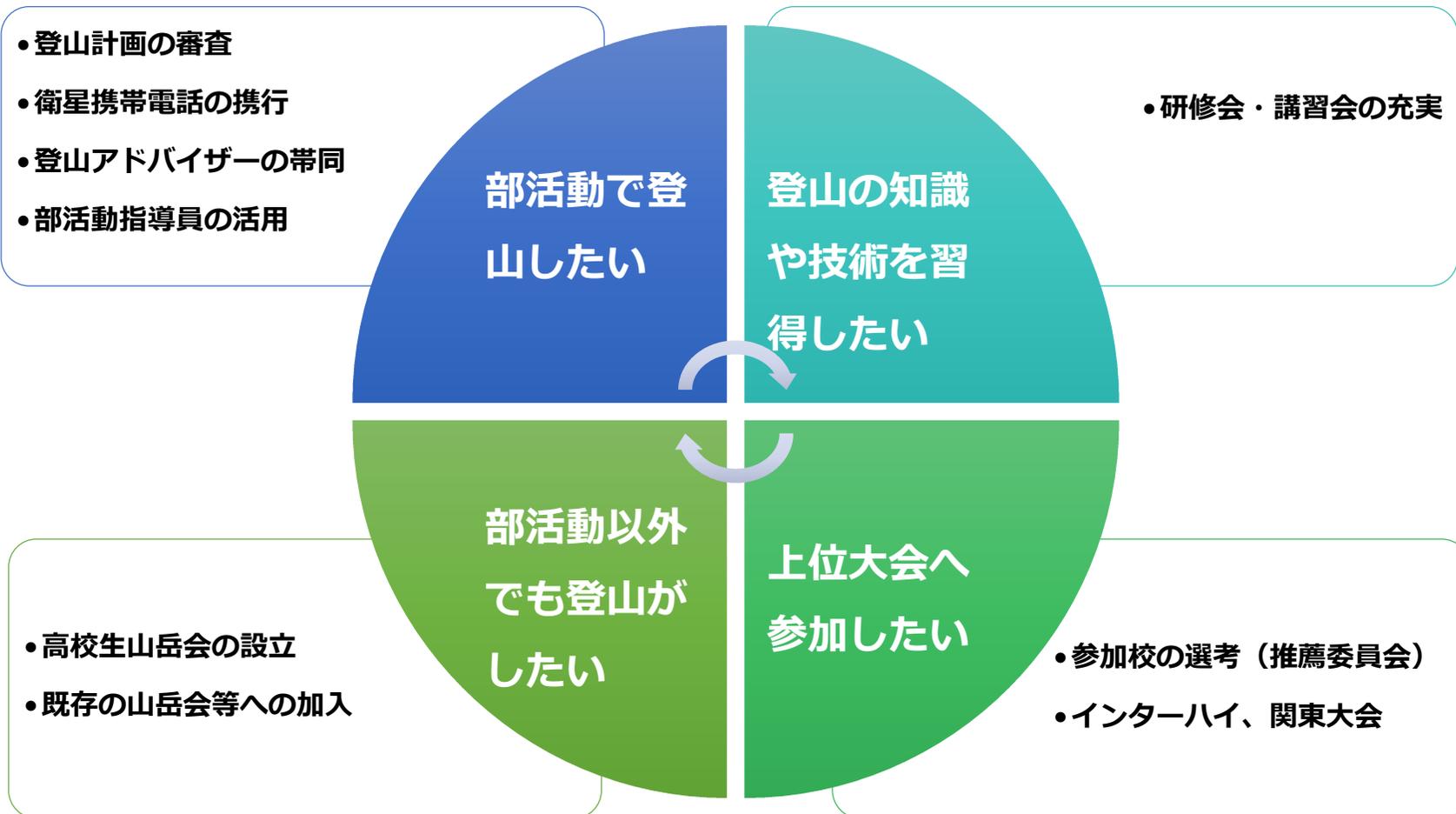
# 1 前回示した本県高校生登山のあり方の方向性

高校生の多様なニーズを踏まえた登山活動が安全に実施できる環境の構築を目指す

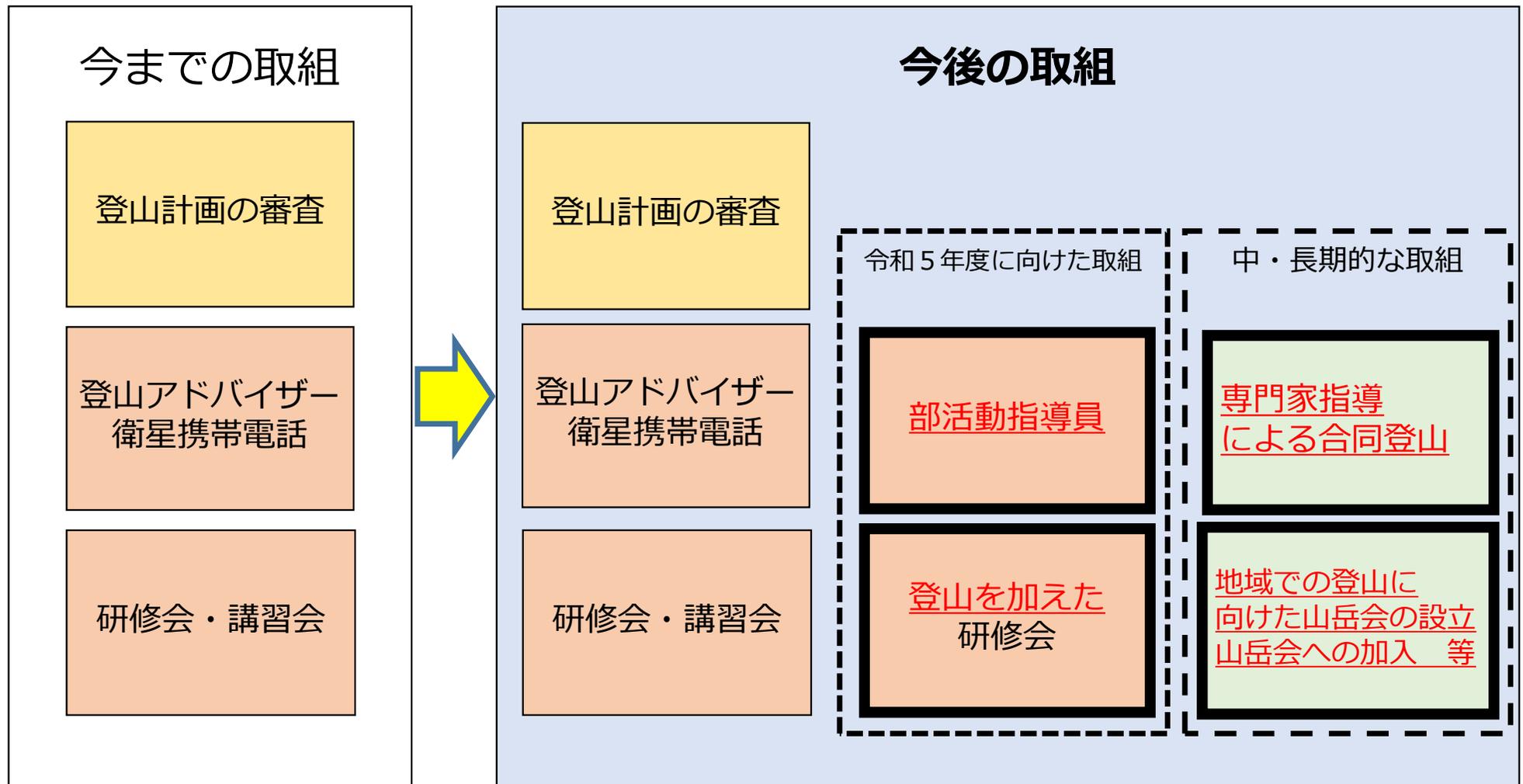
## 2 前回示した取組のイメージ

	H30～現在の取組	取組例（R4～）	取組例（R5～）
学 校 部 活 動	登山計画の審査 H30～全件審査		
	登山実績の公開 R元～HP公開		
		登山アドバイザー帯同 R2～全件帯同	R4～資格要件明確化
	県内大会の廃止 R3～県高体連決定		例① 部活動指導員の活用
			例② 複数校での合同部活動登山
			例③ 山岳会、総合型クラブとの交流登山
		例④ 山岳会、総合型クラブへの加入	
		例⑤ 高校生年代のクラブ登山	
		例⑥ 県主催の登山活動	
			地域における登山活動

# 3 生徒のニーズを踏まえた安全登山への取組



# 4 県教育委員会の取組（案）



# 5 令和5年度に向けた取組（案①）

## 部活動指導員の活用

### 部活動指導員の業務

- ア 実技指導
- イ 安全・障害予防に関する知識・技能の指導
- ウ 学校外での活動（大会・コンクール・練習試合等）の引率
- エ 用具・施設の点検・管理
- オ 部活動の管理運営（会計管理等）
- カ 保護者等との連絡
- キ 年間・月間指導計画の作成
- ク 生徒指導に係る対応
- ケ 事故が発生した場合の現場対応
- コ その他（校長及び教育委員会が必要と認めるもの）

### 配置対象校（R5より）

宇都宮高、宇都宮白楊高、真岡高、栃木女子高、大田原高

配置人数 各校1名

週5日以内、週30時間以内の業務

年間515時間以内

日帰りのみ。1日の勤務7時間45分以内

報酬額1時間当たり1,600円

### 今後のスケジュール

R5.3月 意向調査

3月 内定

4月～配置

# 5 令和5年度に向けた取組（案②）

## 県主催での登山活動（生徒と顧問による安全登山研修会）

目的	県内の登山部生徒及び顧問等が安全な登山は何かを考えるとともに、安全な登山を実施するための基礎知識や危機管理方法等を学び、事故の風化防止と安全登山に向けた意識の向上を図る。
主催	栃木県教育委員会 栃木県山岳・スポーツクライミング連盟
開催場所	宇都宮市森林公園
講師	栃木県山岳・スポーツクライミング連盟指導委員
参加対象	県内登山部生徒及び顧問、高体連登山専門部委員、県内関係者
内容	講義及び実習

開講式	講義・実習① 登山する前に学ぶべきこと	休憩	講義・実習（登山）② 登山におけるリスクマネジメント	質疑応答	閉講式
-----	------------------------	----	-------------------------------	------	-----

## 6 中・長期的な取組（案①）

### 県主催登山活動（専門家指導による合同登山）

目的	那須雪崩事故を教訓に、安全な登山を実施するための基礎知識や危機管理方法等を学び、事故の風化防止と安全登山に向けた意識の向上を図る。
主催	栃木県教育委員会 栃木県山岳・スポーツクライミング連盟
開催場所	県内山域（山のグレーディング難易度A～C）
講師	栃木県山岳・スポーツクライミング連盟
参加対象	県内登山部生徒及び顧問
内容	複数校合同による登山活動 実施日を調整、参加校を募集。登山アドバイザー等の専門家指導のもと、ニーズによる登山活動を実施する。安全登山に向けた準備と方法を学ぶ。 【ニーズによる登山例】 上位大会参加を想定した登山（ニーズA） 低山を中心とした登山、ハイキングがメイン（ニーズB）

# 6 中・長期的な取組 (案②)

## 高校生年代の山岳会設立

### 栃木県山岳・スポーツクライミング連盟加盟団体



栃木県山岳・スポーツクライミング連盟加盟  
団体として高校生山岳会を設立  
指導者は連盟登録の有資格者  
保護者同意による個人登録

# 7 安全登山に向けた取組スケジュール（案）

		令和5年度												令和6年度						
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
令和5年度に向けた取組	登山計画の審査	●		●	●		●	●					●		●		●	●		●
	登山アドバイザーの帯同	→																		
	部活動指導員の活用	- - - - - →																		
	生徒と顧問による安全登山研修会の充実				○													○		
	上位大会参加校の選考（推薦委員会）			○													○			
中取組・長期的な取組	専門家指導による合同登山																			- - - - - →
	山岳会の設立 既存山岳会へ加入			意向調査																- - - - - →